

精華くるりんバスアンケート調査の実施目的

今年で、精華くるりんバスが実証実験として運行を開始してから15年目を迎える。精華くるりんバスの本格運行に向けて、本調査では、くるりんバスの今後の運行方針の提案や、くるりんバスの利用促進を企図して、アンケート調査を行う。

前回の調査（平成26年度）は、くるりんバスを含めた「精華町における公共交通」全般に関する調査を行ったものであり、精華町における公共交通のあり方を模索したものである。一方、今回の調査では、「精華くるりんバス」に焦点をあて、くるりんバスについての住民のニーズ（認知度、利用目的など）を把握する。特に、今回の調査は、くるりんバスを「利用していない」グループや、「知らない」グループについても着目することで、現状の課題を整理し、くるりんバスの利用促進にも役立てることを目的としている。

具体的には、アンケート調査において、（問2、問3で）被験者を以下の三つのグループに分け、それぞれのグループの意識調査を行う。

- A. くるりんバスを「知っていて、ある程度利用している」グループ
- B. くるりんバスを「知っているが、ほとんどあるいは全く利用していない」グループ
- C. くるりんバスを「知らない」グループ

質問項目は、グループごとで異なり、以下に、その質問概要を記す。

グループ A（利用しているグループ）

- 問4 運賃支払い方法（現金 or 回数券？）
- 問5 利用理由（なぜくるりんバスを利用しているのか？）
- 問6 利用目的（どこに行くのにくるりんバスを利用しているのか？）
- 問9 運行経費（くるりんバスの運行経費はどうあるべきか？）

グループ B（利用していないグループ）

- 問7 利用しない理由（なぜくるりんバスを利用しないのか？）
- 問9 運行経費（くるりんバスの運行経費はどうあるべきか？）

グループ C（知らないグループ）

- 問8 利用意向（くるりんバスの路線図、時刻表を見てもらって、今後、利用しようと思うか、思わないか、またその理由は何か？）

問1において、属性（年齢、性別、居住地など）を聞いているので、それぞれのグループについて、属性ごとの意識についても把握する予定でいる。また、本調査では、アンケート用紙とともに、くるりんバスの路線図・時刻表も同封することで、くるりんバスの利用促進を図っている。